

人権啓発VHSリスト

～ 人権感覚を培うために ～



入間市教育委員会 社会教育課

は じ め に

同和問題をはじめとする人権問題の解決にあたっては、人権意識の高揚を基盤とし、市民の一人ひとりが諸問題の正しい理解のもとに、差別される人の心の痛みや苦しみを理解し、共感できる心情を育むことが大切です。

その点、ビデオなどの映像作品は、各自の感性に訴え感動を与えるとともに、差別を憎み、差別をしない、許さない心と実践力を養ってくれるものと思います。

入間市教育委員会では、市民に効果的かつ気軽に利用していただけるよう、埼玉県及び全国で制作された同和問題をはじめとした「人権啓発VHSリスト」を作成いたしました。

家庭で、地域で、職場で是非ご活用ください。

目 次

○ 貸出にあたって	2ページ
○ 人権啓発VHS概要	3ページ
○ 人権啓発VHS一覧表(テーマ別)	14ページ

貸 出 に あ た っ て

- 1 作品の概要を参考に、対象者、上映時間などを考慮して選びましょう。
- 2 貸し出しにあたり、電話連絡等で在庫を確認の上、直接社会教育課へお越してください。
- 3 教材によっては、活用の手引きがございますので、必要な方はお申しつけください。
- 4 貸し出し期間は概ね 5 日間です。終了しましたらすみやかに返却してください。
貸し出し期間については相談に応じます。
- 5 夏休み期間中は、利用が混み合いますので、早めに予約されたほうが確実です。
- 6 返却時には、返却カードに必要事項を記入の上、提出してください。今後の人権啓発や新規購入等の参考にさせていただきます。

(返却カード見本)

人権啓発ビデオ・DVD貸出返却カード

受付日	・ ・	返却日	・ ・	担当
タイトル名	No. タイトル			
使用日	令和 年 月 日()			
使用目的				
使用者	団体名			
	代表者名		電話	
視聴人数	名	学校の場合	学年	

入間市教育委員会社会教育課

- 7 QRコードからも貸出の申し込みが可能です。



- 8 活用にあたり、ご不明な点等ありましたら、社会教育課にご相談ください。

入間市教育委員会社会教育課
TEL 2964-1111(内線4124)

人権啓発VHS概要

No	タイトル	購入年	時間	対象	内容
1	愛と自由のために	平成11年	34分	中学生～	長野県水平社創立時に女性弁士として活躍し、わずか32年の短い生涯を差別と闘いながら駆け抜けた高橋くら子。その生涯を通して、「人間とは何か、差別とは何か」について考える。
2	青空のように	平成7年	47分	成人	子どもの入学をきっかけに親しくなった母親の集まり「乙女の会」での差別的な発言が、子どもたちの楽しみにしていた芋掘りの会を中止に追い込んでしまう。この出来事をきっかけに、「乙女の会」は偏見を無くそうと立ち上がる。
3	あかね雲	平成11年	53分	成人	自らが同和地区出身であることを子どもに伝えるべきか否かを、夫との意見の相違などから悩む主人公。母の見舞いに実家に帰った折、地域の人の優しさやたくましさに触れ、差別に向き合う決意をし、子どもたちに告白する。
4	明日にスウィング	平成10年	50分	成人	結婚を考える若い二人が、周囲の無理解や偏見に対して、ジャズを通して集まった仲間の協力を得ながら立ち向かう姿をさわやかに描く。
5	明日への彩り	平成5年	55分	小学生～	定時制高校に通いながら工場で働く隆と、友人で同和地区出身の則子。二人の生き方や考え方を通し、部落差別や外国人差別の現状について考え、誤解や偏見が差別を生むことを訴える。
6	新しい風	平成15年	30分	成人	新興住宅地に住む夫婦が、仕事や地域活動を通じて、児童虐待やドメスティック・バイオレンスの問題に関わるうち、ともすれば軽視されがちな「家庭における人権」について考える。
7	アミーゴ (ともだち) (アニメーション)	平成10年	15分	小学生～	ブラジルから帰国したサッカー少年が転入。言葉や習慣、しきたりなど、異文化に接した子どもたちが違いを認め、真の友情を築くまでを描く。
8	雨あがり	平成11年	55分	企業	吸収合併されたばかりの信用金庫に勤める主人公は、新しい支店長の同和地区に対する差別的な姿勢と対立。支店長の差別的姿勢が吸収母体の銀行の昔からの体質と知った主人公は、仲間とともに差別をなくすために立ち上がる。
9	生きている (アニメーション)	平成8年	15分	小学生～	「当たり前」と思っていたけど…「生きている」ことへの感動や家族の愛に気づく主人公。命の尊さや希望、友情の大切さを見つめる作品。
10	生きてます、15歳。 (アニメーション)	平成14年	22分	小学生～	我が子の自立を思い、厳しく育てる母。そんな母に反発しながらも明るくたくましく成長していく美由紀。わずか500グラムで生まれ、未熟児網膜症のために失明してしまった美由紀とお母さんの心の交流と成長を描く。

11	一枚の絵手紙	平成 12 年	43 分	中学生～	ひとり暮らしの高齢者と、その家族や地域の人たちとの心のふれあいや支えあいを通して、これから訪れる超高齢化社会に向けて問題を提起する。
12	いつもところに ほほえみを (アニメーション)	平成 16 年	24 分	小学生～	障害に対する正しい理解、命の大切さ、戦争の愚かさや平和の大切さについての3つの話。情操と同時に、人権文化への感性を育てたい作者が、人として生き合う事の大切さを、大人と子どもが話し合えるようにやさしく描いた小作品集。
13	いのち輝くとき	平成 13 年	30 分	成人	最近、深刻な社会問題となっている親による子どもへの虐待。その親と子を救うためには、近隣の人々の温かい心と地域社会の支えが必要であることを訴える。
14	いのち輝く灯 (アニメーション)	平成 11 年	48 分	成人	同和地区出身の恋人との結婚を父から反対されている女性が、交通事故に遭い下半身不随になってしまった。これからの人生に絶望するが、周囲の人々の温かい支えにより自分を見つめ直し、前向きに生きていこうと決心する姿を描く。
15	うちへおいでよ	平成 10 年	54 分	成人	様々な問題に直面する過程で、子どもを理解しようと自己成長していく親の姿に絡めて、同和問題・いじめ問題などについても考える。 相手を思いやり、お互いの居場所を狭めない心づかいの大切さを明るく爽やかに描く。
16	美しいメッセージ (アニメーション)	平成 13 年	27 分	中学生～	一人の少女の、「差別はおかしい」という勇気ある叫びが、多くの人々の共感を呼ぶ。 第4回演劇ストーリー入選作品が原作。
17	笑顔の広がる街	平成 12 年	54 分	成人	子育てを通して親も成長していく「親子共育」を主題として取り上げ、同和地区の人々と、その周辺の人々が、子育てという共通の悩みを通して、共に成長しながら、より良い生き方を見出そうと努力する様子を描く。
18	えせ同和行為排除 のために	平成 14 年	30 分	成人 企業	ある日、会社に突然送られてきた同和問題に関する書籍。購入を強要され思い悩む主任の神山。しかし、人権擁護委員のアドバイスにより、毅然とした態度で臨むことの大切さを学ぶ。
19	おーい！	平成 10 年	45 分	成人 企業	人が人を差別するという悲しい心はどうして生まれるのだろうか？ 自分と違う境遇にある人に対する無知・無関心が無意識のうちに差別へつながっていることに気づかせ、「差別とは何か？」を問いかける。

20	贈られた湯飲み茶碗	平成8年	48分	成人	陶芸展で落選した若手陶芸家が、入選した同和地区出身の後輩に劣等感を持ち、差別的な態度をとるようになる。しかし、阪神淡路大震災の被災地のお年寄りとのふれあいを通して、自分の心に潜む差別意識に気づいていく姿を描く
21	おじいちゃんのトマト (アニメーション)	平成9年	39分	小学生～	介護のために貴志の家にひきとられることになった祖父。そのことでいつしか家族の気持ちはバラバラになってしまう。そんなある日、トマトを嵐から守ろうとする祖父のひたむきな熱意に打たれた貴志の家族は、お互いを思いやる気持ちを取り戻す。 「共に生きる」ことの大切さを強く訴える作品
22	おじいちゃんの花火 (アニメーション)	平成10年	25分	中学生～	交通事故で両親を失い、自身も障害者となった女子中学生百合子。介助犬の助けを借りながら花火職人の祖父に会いに行く過程を通して、同和問題をはじめとした様々な人権問題について考える。
23	おばあちゃんありがとう	平成12年	52分	中学生～	差別で文字を奪われながらも、一生懸命生きてきたおばあちゃん。そんなおばあちゃんの生き方から、人間として共に生きる喜びと輝きを取り戻した家族や周囲の人々。 差別のない家庭や地域をつくる実践のありかたを示唆し訴える作品。
24	親と子の対話 ～思春期の子どもと 向き合うために～	平成14年	29分	成人	ある日突然問題行動を起こす思春期の子どもたち。親の苦悩とともに、子どもに対する親の言葉や受け止め方、夫婦のあり方などを描く。
25	風かよう道	平成13年	35分	成人	古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜・占い・穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるインターネットを悪用した差別事件も絡めて描く。
26	風の旅人 (アニメーション)	平成15年	30分	小学生～	本当の自立とは、他者の力をどれだけ借りられるかにかかっている…。 ベッド式車椅子を、通りがかりの人々に押ししてもらいながら旅を続け、人々の間を風のように駆け抜けていった、重度身体障害者である故・宇都宮辰半氏の感動的な生き様を描く。
27	風のひびき	平成12年	54分	成人	聴覚に障害のある主人公が、ホームヘルパーとして働くなかで、様々な現実の壁を体験する。悩みながらも心のバリアフリーを信じて前向きに生きていく主人公の姿を描く。
28	風はみどりに	平成10年	50分	成人	障害者を支援するボランティアグループ内で発生した差別事象。差別解決に向けて努力する同和地区出身の青年とボランティアグループの人々の取組を描く。

29	がんばれまあちゃん	平成7年	48分	小学生～	生まれた時から聴覚障害を持つ主人公が、いじめや障害にぶつかりながらも、温かな家族に見守られて成長していく姿を描く。自立した人生を願って…。
30	希望の春	平成12年	54分	中学生～	高校進学を断念してバイクで遊びまわっていた進一と、難病を抱え死と直面しながらも希望を失わず周囲の期待にこたえている隆志の友情と心の成長、そして二人を支える院内学級の教師真由美の差別への気づきを描く。
31	きまりのないくに (アニメーション)	平成13年	16分	小学生～	楽しいことが大好きで、きまりなんかどうでもいいと思っていたキリコ。ある日ネコの案内で不思議な「きまりのないくに」へ。そこで様々な体験をしたキリコは、一人ぼっちの寂しさを知り、友だちを発見し、きまりの大切さに気づく。
32	霧の中の真実	平成7年	54分	企業	「地名総鑑」とは企業にとって何を意味したのか？「地名総鑑」を契機として、本当の自分を求めようとする二人の男を通して、企業のあり方を問いかける。
33	こころの交響曲 (アニメーション)	平成14年	43分	成人	家庭や身近な所で起こる言葉や力による暴力について取り上げ、「人間の尊厳」「命の尊さ」「家庭のあり方」等について問題提起する。
34	琴美の決意	平成14年	37分	成人	「差別をなくすには、差別を受けた側が訴えていくしかない…」若い母親である琴美が、わが子の将来のために、勇気を持って自分の思いを語る。
35	ごめんね、ミーちゃん (アニメーション)	平成17年	12分	小学生 低学年～	「いのちの大切さ」「相手を思いやる気持ち」そんな当たり前のことが子どもたちの心から失われつつある。小学校低学年向けの分かりやすく心あたたまるストーリーの中で、『どんな生きものにも尊いいのちがあること、それを大切にしなければならない』ことを訴える。
36	サインはストレート	平成9年	45分	中学生～	中学時代、同和地区出身のため、ライバルや信頼していたコーチから差別を受け、野球をやめてしまった主人公。入学した高校で野球の誘いを受けるが拒み続ける。 高校生たちが「人の痛みを自分の痛み」として捉え、差別の解決に向け努力していく姿を描く。
37	さわやかに風吹く町	平成6年	55分	成人	亡き夫のことで中傷されながらも、それに負けずに明るく青果店を営む由美子。一方、同和地区出身の恋人との交際を両親から反対され悩む明は、由美子に励まされ両親を説得する。 人権尊重の精神を基盤とした、差別のない地域社会の実現を目指した作品。

38	三月三日の風 ～水平社誕生物語～	平成9年	53分	成人	大正11年3月3日に京都岡崎公会堂で開かれた全国水平社創立大会で、万吉が書いた水平社宣言が読み上げられ、水平社運動は全国に広がっていく。全国水平社創立者のひとり西光万吉が水平社結成にいたるまでの過程を、万吉の生い立ちや差別体験を通して描く。
39	サンセットサンライズ	平成9年	49分	成人	仕事熱心のあまり、娘がいじめにあっていることに気づかない母沙織。娘の危機を救ってくれた青年裕之が同和地区出身であることを知り態度を変える。しかし、裕之の結婚話が壊れかけていることを知った由美は、勇気を出し行動を起こす。
40	しきじきょうしつ	平成8年	54分	成人	同和地区の人々を対象に開かれた識字教室は、近年、在日韓国・朝鮮人や中国残留孤児たちが日本語を学ぶ場になっている。 識字教室での人々のふれあいや、悩みを克服していく姿を描く。
41	しっぱい いっぱい もいっかい (アニメーション)	平成13年	17分	幼児～	失敗ばかりで悩んでいた子どもたちが、ある日失敗を食べてくれるババルを探しに森へ…そこで出会ったバクさんに「もいっかいのタネ」と「考える勇気」をもらう。失敗の体験を通じて成長していく子どもたちを描く。
42	女性の人権を考える	平成14年	25分	成人	私たちの意識の中に残る女性差別意識は解消されたのだろうか？ DV・セクハラ被害者から実際の体験を聞く中から、女性差別の根元にある意識を問う。
43	「人権」ってなんだろう	平成16年	14分	小学生～	「自分も大切、他人も大切」「ふざけていたのもいじめなの？」「これって差別？」の三部構成。いじめ、差別、人権侵害を子どもたちが自分の問題ととらえ、その解決に向け、知恵を出し合い行動に移すことをねらいとした作品。
44	人権の扉をひらく	平成16年	25分	成人	ミニドラマとナレーションで構成。人権を身近に感じてもらうために、生活の中で出会う幅広い人権のテーマを取り上げている。 主人公は共働きの夫婦で、お互いに対等な関係でありたいのが二人のモットー。二人の身近に起こる様々な事例を通して人権を考える。
45	人権を考える ～女性と子どもと母親～	平成10年	30分	成人	キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子を持つ母親が同和問題に直面し、日々の生活の中に誤った知識や偏見があることに気づき、同和問題をはじめ女性・在日外国人差別など、人権問題の解消に向け行動を開始する。

46	人権と向きあう	平成 18 年	28 分	中学生～	『違い』という言葉キーワードにして、「障害がある人」「外国人」「ハンセン病」「部落問題」について、当事者の語りかけは心に強く響く。 差別の現実に深く学び、「違っていいんだよ、そのままでもいいんだよ」と認め合い、尊重しあう社会や職場を目指すことをねらいとした作品。
47	新ちゃんがないた (アニメーション)	平成 2 年	36 分	小学生～	四肢性マヒの障害を持つ新一が、幼なじみのツヨシのクラスに編入してきた。その日から彼らの行く手には様々な困難が待ち受ける。 「何が生き抜いていく勇気につながるのか」「何が本当に人を強くするのか」「何が人と人とのつながりをつくるのか」を考えさせる作品。
48	セツちゃん	平成 16 年	34 分	中学生～	自分の居場所を失うまいと、両親の前で仲間はずれにされている架空の友達、「セツちゃん」の作り話を必死で続ける加奈子。 「いじめ、止まないよ。そんなに現実って甘くないもん」という加奈子の言葉は、「いじめ」の深刻さや家族のあり方について考えさせる。
49	セピア色の風景	平成 13 年	55 分	中学生～	故郷を語れぬ父。事実を知るために父の故郷を訪ねる息子。差別の厳しさと家族の絆についてドラマチックに描く。
50	草太の誓い (アニメーション)	平成 11 年	15 分	小学生～	江戸時代の差別の実態をひとりの少年の目を通して描き、同和問題がいかに不合理で政治的意図に満ちたものであったかを伝えている。 差別に負けない力を持ち続けることの大切さを訴える。
51	ソーテ サワサワ	平成 16 年	34 分	小学生 高学年～	言葉も文化も異なる日本で暮らすタンザニア出身のフィディアさん。外国人差別に対して、フィディアさんから私たち日本人へ、そして、この世の全ての人々へ贈る言葉…「ソーテ・サワサワ」「人間の価値は、みな同じ。みないっしょ。」外国人への偏見や差別について訴える。
52	そして出発	平成 11 年	54 分	成人	ある事件を契機に同級生に不信感を抱いていた主人公。20 年ぶりの再会で、同和問題に立ち向かう同級生の姿にわだかまりは消え、自らも子どもに同じ思いをさせまいと決意する。過去を振り返りながら現代社会に残っている差別に立ち向かっていく二人の主婦の姿を描く。
53	だけん・なん	平成 10 年	58 分	成人 企業	差別という厚い壁に直面しながら「だけん・なん(だから、なんだ)」と立ち向かう主人公たち。差別や偏見の不合理さを訴え、併せて次世代の子どもたちがいじめや差別に立ち向かう勇気を伝えることの大切さを描く。

54	だんじり囃子	平成 11 年	54 分	小学生～	学級懇談会で、母が自らの出身を告白しながら差別発言をたしなめたことを機に、進一は周囲からいじめを受けるようになる。そのことを知った担任は、だんじり囃子への取組を通して、子どもたちの心に「人を大切に作る心」を育んでいく。伝統芸能を通じて人権・同和問題を考える。
55	地域の虐待防止	平成 13 年	26 分	成人	自らを被害者と訴えることができない虐待。それだけに外部からの的確な対処は難しい。ドラマ仕立てで虐待問題への関わり方を具体的に探る。
56	小さな叫び	平成 16 年	30 分	成人	写真館を経営する家族の周りに起こる様々な人権問題を描く。幼児・児童の虐待は、いつでもどこでも起こりうる深刻な問題。 「女は女らしく、男は男らしく」などの言葉の暴力、他人のことに「口出しする」とこと「気を配る」ことの違いなど、考えさせられる作品。
57	同級生	平成 13 年	30 分	成人	部落差別が原因で別れてしまった二人の父親が、家族同士のふれあいの中で、再び部落差別と向き合いながら友情を取り戻していく。 自分自身と向き合うこと、生きる上で親は子に何を伝えなくてはならないかなど提起する。
58	東京の同和問題	平成 6 年	30 分	成人	就職差別やパソコン通信における差別事件など今日的な差別の実態を伝え、部落差別がどのようにつくられたのかを歴史的にも描いた作品。
60	どんぐり森へ (アニメーション)	平成 10 年	15 分	幼児～	虫をいじめていたわんぱく少年がどんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、命の大切さに気づいていく。命を大切に作る心を育んでいくと共に自分自身がかけがえのない存在であることに気づくことをねらいとした作品。
61	名前・・・ それは燃えるいのち (アニメーション)	平成 18 年	18 分	小学生～	名前に込められた両親の深い愛情を子どもたちに気づかせようとした姜明子(カンミョンジャ)先生。姜先生の自分の名前への深い思い、一人一人の命の大切さ、一人ひとりの違いのすばらしさについて、「名前」を通して考えさせる。
62	虹のかけ橋 (アニメーション)	平成 3 年	30 分	中学生～	中学 3 年生の香織は、転向してきた聡が同和地区の生まれと知り差別する側にいたが、不注意から激流にのみこまれた自分を救い出してくれた聡に共感し、大きく変容していく。差別解消に向け、相手の立場に立って人の心の痛みを理解し、行動することの大切さを描く。
63	二匹の猫と元気な家族 (アニメーション)	平成 9 年	25 分	小学生～	神戸で大震災に遭った家族が東京に引っ越し、それぞれが新しい生活や身近に起こるいじめや差別に戸惑いながらも、それを乗り越えていく姿を描く。互いをよく知り、違いを認め合うことの意味を考えさせる。

64	日本に暮らす新来外国人	平成14年	25分	成人	「国際化」「多文化共生」への取組が盛んに行われているが、ニューカマーと呼ばれる新来外国人たちを取り巻く状況は、一段と厳しさを増している。国際社会の中で、今後こうした問題をどのように考えればよいか問いかける。
65	にんげんの詩 (アニメーション)	平成元年	26分	成人	ふとしたことから、部落差別の問題に直面することになった18歳の少女ミツコ。その差別の根元を追い求め、時空を越えた旅を続ける中で、差別の理不尽さに気づいていく姿を描く。
66	きずな ～にんげんの詩パート2～ (アニメーション)	平成3年	30分	成人	親の反対を押し切って被差別部落出身の青年と結婚したミツコが、両親との離反、夫の死、そして両親との和解と別れ…と辛酸をなめながらも人間として成長していく姿を描く。
67	根雪とける頃	平成7年	47分	成人	息子の結婚をめぐり、同和地区出身の男性と結婚し、絶縁状態にある娘の存在を気にする両親。結婚問題を通して、家族やまわりの人々が、「自立することの大切さ」や「どの人間も一人の人間として尊重されなければならない」ことに気づいていく様子を描く。
68	バースディレストラン	平成13年	30分	中学生～	中学3年の主人公が、父親の死によって初めて、両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知る。主人公が部落差別と正面から向き合い、乗り越えていこうと決心するまでの姿を描く。
69	はげ (アニメーション)	平成13年	16分	小学生～	病気のため頭にはげがある子の姿を通して、人の心の痛みを感じ、思いやる気持ちの大切さを描く。
70	橋のない川	平成4年	139分	成人	住井すゑ原作「橋のない川」を本格的に映画化。舞台は明治・大正期の奈良の農村にある被差別部落小森。そこに生まれた主人公の兄弟の成長を通して、真の人間の豊かさとは何かを問いながら、全国水平社結成に至るまでの人々の闘いを描く。
71	春をまつ雪	平成7年	53分	成人	家族に反対されながらも同和地区出身の青年と結婚し、一児の母となり幸せに暮らしていた佐枝子。ある日、友人がふと口にした言葉に差別心を知りショックを受ける。同和問題の解決は「わたしの幸せ、みんなの幸せ、まちづくりの中心課題」という視点で描かれている。
72	ハンセン病 剥奪された人々	平成14年	25分	中学生～	ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況が描かれている。根強い差別の実態と、国民一人ひとりの心に潜む、拭いきれない偏見を問う。

73	被差別民が担った 文化と芸能	平成 12 年	43 分	成人	被差別民衆が担ってきた芸能の歴史が、民俗学者である沖浦氏の案内のもと、その由来の地で語られる。文化の創造、継承者として担ってきた重さに感動させられる。
74	陽だまりの家 (アニメーション)	平成 15 年	42 分	小学生～	母親とその娘の千鶴が、様々な出会いの中で成長し「真の共生」の姿に気づいていく。個性の違いを認め合い、互いに尊重しながら寄り添うとき、陽だまりのような温かな場所が生まれるとの思いが込められている。
75	ひびけ！和だっこ (アニメーション)	平成 16 年	22 分	小学生～	「子どもの権利条約」を踏まえた作品。大人と子どもの関わり方や子どもの「意見表明権」に焦点をあて、「他人の権利」と「自分の権利」がぶつかり合う場面を中心に、視聴者自身が「他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ることである」ことに気づくことをねらいとしている。
76	ヒューマン博士と 考えよう	平成 18 年	28 分	中学生～	日本の伝統的な文化や芸能が、差別された人々の生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人々の歴史や暮らしに焦点を当てながら歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげていくことをねらいとしている。
77	風化からの告発	平成 12 年	32 分	成人 企業	1975 年の部落地名総鑑事件から 20 余年。あのかの戒めを破り差別を商う調査会社。企業と市民の差別意識を鋭く問うドキュメント。
78	二つ目の門 ～一枚の調書から～	平成 7 年	43 分	成人 企業	企業が独自に使用している管理用紙、いわゆる「社用紙」の提出により、同和地区出身ということで差別を受ける女性社員と、用紙の提出に疑問を感じる男性社員の姿を通して、人権上の問題点を指摘する。
79	部落の心を伝えたい	平成 11 年	30 分	成人	同和地区出身の女性が、自らの人生と家族のことを通して、差別を受ける側の苦しさや辛さ・差別の実態を語り、差別をなくしていくことの大切さを訴える。
80	ペロ出しチョンマ (アニメーション)	昭和 62 年	15 分	小学生～	人を愛する心は決して屈しない。弱いもの同士が傷つけ合うよう仕組まれた江戸時代の身分制度のなかで、少年長松が見せた心意気を描く。
81	ぼくだってきれいに したいんだ (アニメーション)	平成 7 年	16 分	小学生～	自分の欠陥を、人からからかわれたり励まされたりした時の気持ちは…。 主人公の微妙な心の動きを描きながら、思いやりやいたわりの気持ちの大切さを描く。

82	ぼくの青空 (アニメーション)	平成9年	26分	小学生～	筋ジストロフィーと闘う主人公が、わずかに動く口を使って、ベッドの上で打ったワープロや口述筆記から綴った本をもとにしたアニメーション。 『障害者も生きているんだ』ということの普通のことのように、多くの人に理解してほしい」という命のメッセージであり、命の応援歌である。
83	誇りうる部落の歴史	平成7年	30分	成人	近世の被差別部落の人々が、不当な身分差別と闘いながらも、優れた知識・技術・労働を通して主要な生産を支え、社会生活のなかで重要な役割を担ってきた事実を伝える作品。
84	誇り高き男	平成10年	56分	成人 企業	たった一つの価値観にすがって生きてきた一人の青年の「ひよわな自尊心」を描く。 青年を通して、偏見をもったり、差別という恥ずべき行為を、無自覚かつ日常的に繰り返したりしているかもしれない「我々」自身を振り返る一助にとの願いを込めている。
85	みんなで考える部落の歴史 ①つくられた身分差別 ②部落差別の強化 ③部落差別をなくす歩み	平成3年	21分 29分 27分	成人	中学生と、歴史に詳しいその伯父とが登場し、二人で資料を調べ、史跡を訪ねて、対話をしながら学習を進めていく。
86	メール	平成13年	54分	中学生～	身に覚えのない中傷を、ネット上の掲示板に書き込まれた女子高校生の精神的な苦痛と、そこから立ち直る姿を描く。共感性の高いさわやかな作品。
87	芽吹き (アニメーション)	平成7年	41分	成人	18年前、相手が同和地区出身だということだけで結婚に反対したために息子を失い、町を去った主人公。屋敷の始末の必要と謝罪の念から再び町に戻ってきたが…。 少女や高校生とのふれあいを通して、主人公が社会の習慣や価値観から解放されていく姿を描く。
88	もっとフレンドリーに	平成4年	54分	成人	二人の子どもを持つ旅行代理店の女性課長を主人公に、同和地区の人々に対する偏見や、女性差別に焦点を当て、一人ひとりが差別意識に気づき、克服していく姿を描く。

89	友情ヘラン！	平成 8 年	45 分	中学生～	転校を間近にひかえた中学生の裕子は、サイクリング友達と最後のランへ出かける計画を立てるが、親たちの同和地区への偏見により阻まれそうになる。仲間と協力して差別や偏見に毅然と立ち向かおうとする子どもたちの姿を描く。
90	夢の箱	平成 12 年	50 分	小学生～	結婚を機に日本で暮らすことになったタイ出身の女性マイラ。彼女と彼女の家族が出会う様々な場面を通し、一人一人が互いの文化や生活習慣の違いを認め、理解することの大切さを描く
91	わかりあえる季節	平成 10 年	52 分	中学生～	実際に起きた差別事象をもとにした構成で、在日韓国・朝鮮人に対する差別をはじめ、日本における様々な人権問題をからめた作品。差別発言によって傷つけられた関係を、懸命に修復しようとする高校生の姿を描く。
92	私たちと人権「課題編」	平成 5 年	30 分	成人 企業	同和問題や外国人問題など、日常生活の中に潜む差別を様々な角度から取り上げ、問題提起をする。
93	私たちと人権「家庭編」	平成 2 年	26 分	成人	家庭に焦点を当て、私たちの意識や考え方について、様々な角度から問題を提起する。二部構成。
94	私たちと人権「職場編」	平成 3 年	29 分	成人 企業	第一部が職場での出来事(ドラマ)、第二部が一部の解説。話し合いの材料として問題を提起する。
95	私の歩んだ道 ～差別を生きて～	平成 12 年	35 分	成人	被差別部落の青年と結婚した講師が体験してきた差別との闘い。娘の結婚差別・地域での差別文書事件。「夫と共に差別と闘った歳月を誇りに思います」という講師が、人として生きることの意味について語る。
96	私の権利、みんなの権利	平成 16 年	14 分	小学生～	「権利って何?」「子どもの権利条約って何?」「意見表明権って何?」の三部構成。子どもの権利について理解し、子どもの意見表明権があることを学ぶ。子どもの権利を、子どもたち自身の体験とのつながりで考えることを目標としている。
97	私の質問状	平成 8 年	32 分	成人 企業	不動産会社に入社して 2 年、垂矢は念願の営業課総合職の辞令を受ける。そこで、女性差別や同和問題に直面した垂矢は、自分の決意を込めて、会社に対する質問状を送る。

人権啓発VHS一覧表(テーマ別)

No	タイトル	購入年	時間	テーマ	対象
26	風の旅人(アニメーション)	平成 15 年	30 分	障害者の人権	小学生～
69	はげ(アニメーション)	平成 13 年	16 分	障害者の人権	小学生～
27	風のひびき	平成 12 年	54 分	障害者の人権	成人
22	おじいちゃんの花火(アニメーション)	平成 10 年	25 分	障害者の人権	中学生～
28	風はみどりに	平成 10 年	50 分	障害者の人権	成人
82	ぼくの青空(アニメーション)	平成 9 年	26 分	障害者の人権	小学生～
29	がんばれまあちゃん	平成 7 年	48 分	障害者の人権	小学生～
47	新ちゃんがないた(アニメーション)	平成 2 年	36 分	障害者の人権	小学生～
46	人権と向きあう	平成 18 年	28 分	日常の人権	中学生～
61	名前…それは燃えるいのち(アニメーション)	平成 18 年	18 分	日常の人権	小学生～
35	ごめんね、ミーちゃん(アニメーション)	平成 17 年	12 分	日常の人権	小(低学年)～
12	いつもこころにほほえみを(アニメーション)	平成 16 年	24 分	日常の人権	小学生～
43	「人権」ってなんだろう	平成 16 年	14 分	日常の人権	小学生～
44	人権の扉をひらく	平成 16 年	25 分	日常の人権	成人
48	セツちゃん	平成 16 年	34 分	日常の人権	中学生～
56	小さな叫び	平成 16 年	30 分	日常の人権	成人
6	新しい風	平成 15 年	30 分	日常の人権	成人
74	陽だまりの家(アニメーション)	平成 15 年	42 分	日常の人権	小学生～
10	生きてます、15 歳。(アニメーション)	平成 14 年	22 分	日常の人権	小学生～
24	親と子の対話	平成 14 年	29 分	日常の人権	成人
33	こころの交響曲(アニメーション)	平成 14 年	43 分	日常の人権	成人
34	琴美の決意	平成 14 年	37 分	日常の人権	成人
16	美しいメッセージ(アニメーション)	平成 13 年	27 分	日常の人権	中学生～
25	風かよう道	平成 13 年	35 分	日常の人権	成人
31	きまりのないくに(アニメーション)	平成 13 年	16 分	日常の人権	小学生～
41	しっぱい いっぱい もいっかい (アニメーション)	平成 13 年	17 分	日常の人権	幼児～
55	地域の虐待防止	平成 13 年	26 分	日常の人権	成人
86	メール	平成 13 年	54 分	日常の人権	中学生～
23	おばあちゃんありがとう	平成 12 年	52 分	日常の人権	中学生～
30	希望の春	平成 12 年	54 分	日常の人権	中学生～

4	明日にスウィング	平成10年	50分	日常の人権	成人
15	うちへおいでよ	平成10年	54分	日常の人権	成人
19	おーい!	平成10年	45分	日常の人権	成人・企業
60	どんぐり森へ(アニメーション)	平成10年	15分	日常の人権	幼児～
84	誇り高き男	平成10年	56分	日常の人権	成人・企業
63	二匹の猫と元気な家族(アニメーション)	平成9年	25分	日常の人権	小学生～
9	生きている(アニメーション)	平成8年	15分	日常の人権	小学生～
97	私の質問状	平成8年	32分	日常の人権	成人・企業
2	青空のように	平成7年	47分	日常の人権	成人
81	ぼくだってきれいにしたいんだ (アニメーション)	平成7年	16分	日常の人権	小学生～
94	私たちと人権 - 職場編 -	平成3年	29分	日常の人権	成人・企業
93	私たちと人権 - 家庭編 -	平成2年	26分	日常の人権	成人
11	一枚の絵手紙	平成12年	43分	高齢者の人権	中学生～
21	おじいちゃんのトマト(アニメーション)	平成9年	39分	高齢者の人権	小学生～
75	ひびけ和だいこ(アニメーション)	平成16年	22分	子どもの人権	小学生～
96	私の権利みんなの権利	平成16年	14分	子どもの人権	小学生～
13	いのち輝くとき	平成13年	30分	子どもの人権	成人
42	女性の人権を考える	平成14年	25分	女性の人権	成人
76	ヒューマン博士と考えよう	平成18年	28分	同和問題	中学生～
18	えせ同和行為排除のために	平成14年	30分	同和問題	成人・企業
59	同和問題これからの課題	平成14年	28分	同和問題	成人
49	セピア色の風景	平成13年	55分	同和問題	中学生～
57	同級生	平成13年	30分	同和問題	成人
68	バースディレストラン	平成13年	30分	同和問題	中学生～
22	笑顔の広がる街	平成12年	54分	同和問題	成人
73	被差別民が担った文化と芸能	平成12年	43分	同和問題	成人
77	風化からの告発	平成12年	32分	同和問題	成人・企業
95	私の歩んだ道	平成12年	35分	同和問題	成人
1	愛と自由のために	平成11年	34分	同和問題	中学生～
3	あかね雲	平成11年	53分	同和問題	成人
8	雨あがり	平成11年	55分	同和問題	企業
14	いのち輝く灯(アニメーション)	平成11年	48分	同和問題	成人

50	草太の誓い(アニメーション)	平成 11 年	15 分	同和問題	小学生～
52	そして出発	平成 11 年	54 分	同和問題	成人
54	だんじり囃子	平成 11 年	54 分	同和問題	小学生～
79	部落の心を伝えたい	平成 11 年	30 分	同和問題	成人
45	人権を考える～女性と子どもと母親～	平成 10 年	30 分	同和問題	成人
53	だけん・なん	平成 10 年	58 分	同和問題	成人・企業
36	サインはストレート	平成 9 年	45 分	同和問題	中学生～
38	三月三日の風	平成 9 年	53 分	同和問題	成人
39	サンセットサンライズ	平成 9 年	49 分	同和問題	成人
20	贈られた湯飲み茶碗	平成 8 年	48 分	同和問題	成人
40	しきじきょうしつ	平成 8 年	54 分	同和問題	成人
89	友情ヘラン！	平成 8 年	45 分	同和問題	中学生～
32	霧の中の真実	平成 7 年	54 分	同和問題	企業
67	根雪とける頃	平成 7 年	47 分	同和問題	成人
71	春をまつ雪	平成 7 年	53 分	同和問題	成人
78	二つ目の門	平成 7 年	43 分	同和問題	成人・企業
83	誇りうる部落の歴史	平成 7 年	30 分	同和問題	成人
87	芽吹き(アニメーション)	平成 7 年	41 分	同和問題	成人
37	さわやかに風吹く町	平成 6 年	55 分	同和問題	成人
58	東京の同和問題	平成 6 年	30 分	同和問題	成人
5	明日への彩り	平成 5 年	55 分	同和問題	小学生～
92	私たちと人権 -課題編-	平成 5 年	30 分	同和問題	成人・企業
70	橋のない川	平成 4 年	139 分	同和問題	成人
88	もっとフレンドリーに	平成 4 年	54 分	同和問題	成人
62	虹のかけ橋(アニメーション)	平成 3 年	30 分	同和問題	中学生～
66	きずなーにんげんの詩パート 2ー (アニメーション)	平成 3 年	30 分	同和問題	成人
85	みんなで考える部落の歴史 (①21分②29分③27分)	平成 3 年	左記	同和問題	成人
65	にんげんの詩(アニメーション)	平成元年	26 分	同和問題	成人
80	ベロ出しチョンマ	昭和 62 年	15 分	同和問題	小学生～
51	ソーテ サワサワ	平成 16 年	34 分	外国人の人権	小(高学年)～
64	日本に暮らす新来外国人	平成 14 年	25 分	外国人の人権	成人
90	夢の箱	平成 12 年	50 分	外国人の人権	小学生～

7	アミーゴ ともだち(アニメーション)	平成10年	15分	外国人の人権	小学生～
91	わかりあえる季節	平成10年	52分	外国人の人権	中学生～
72	ハンセン病 剥奪された人権	平成14年	25分	ハンセン病	中学生～



入間市教育委員会 社会教育課
☎04-2964-1111(内線 4123 4124)